

杵築城下町 夜間景観向上ワークショップ

日本文理大学 建築学科 教授 島岡成治 近藤正一 准教授 江越充 協力：メカトロニクス応用研究部

金子志穂 赤司瑞果 阿閉元星 志方遥郁 池田涼太 小島和真 齋藤志歩 田原乃々花 玉田梨那 三原佳将 山本侑歩 矢野直人 荒瀬葵 石黒礼花 岡本悠志 黒田翔 高橋柊哉 原宏二郎 堀之内彩 松井こはる
松野太紀 宮崎拓実 渡邊聖月 北山慶 瀧澤千晴 中村史玖 丹生昌伸 広瀬太一 KIMSIWON

杵築市 企画財政課 都市計画係 宮本展克 本多梨恵 杵築市 教育委員会 文化・スポーツ振興課 文化財係 阿南雅希 杵築市観光協会 内田雄大（敬称略）

地域住民と観光客が行き交う夜間景観を目指して



坂の街と呼ばれる杵築の城下町は、観光客の滞在時間が短い、宿泊客が少ないという課題が挙げられ、夜のアクティビティの創出が求められています。加えて、坂を中心とした歩行路には段差が多く、夜間の通行の安全性への懸念が指摘されています。

このような背景を受けて本事業は、住民や観光に訪れた人々が夜間も安全に、安心して歩行でき、かつ城下町をそぞろ歩きしたくなる夜間景観を創出することを目的としています。省エネや光害にも配慮した新しい夜間景観のあり方について、地域とともに考えるワークショップを実施しました。

杵築城下町の特徴

- ・豊後路の小京都
- ・坂の街

近年の課題

- ・地域の活力の低下
- ・歴史的街並みの継承

改善方針

- ・観光客の誘致
- ・夜のアクティビティの追加

本事業の目的

- ・夜間の安全、安心の確保
- ・魅力的な夜間景観の創出

魅力的な夜間景観の検討と実践（光のイベント「観月祭」への出展）



人々を惹きつける夜間景観について考え、それを実践する場として、毎年10月に行われる「観月祭」に出展させていただきました。城下町の風情を今に伝える「中根邸」をお借りし、光のアートの展示を行いました。

提灯や窓からの漏れる光による人を惹きつける効果を確認し、木々のライトアップや水に反射する光の魅力について、インスタレーションを通して学生が来場者とともに体感する機会となりました。来場者にはヒアリングを行い、その印象の確認や改善点のご意見をいただきました。

安全・安心かつ魅力的な街路照明の検討と実践（街路照明実験・成果報告会）



昨年からの活動を通じて得た知識や経験を活かし、新たな街路照明案についての提案を行いました。照明の方式や間隔、光の強さなどについて検討を行い、学内で実験を重ね、最終案をまとめていきました。最後に地域へのフィードバックとして、現地で市職員や地域住民の方々に見ていただく成果報告会を実施しました。

ビフォー（現状・一般）とアフター（改善案）の照明環境を実際に見ていただき、参加者からは改善案に好評をいただくことができました。学生にとっては達成感と学びが得られる大変貴重な機会となり、杵築城下町の街路照明の改善に向けた新たなステップにつながる活動となりました。